



信和株式会社
証券コード 3447

日経 I R ・ 個人投資家フェア 会社説明会

2019年8月23日・8月24日

1 信和について

2

会社概要

足場を中心とした
金属加工の製造メーカーです



商号	信和株式会社
代表者	山田 博
本社所在地	岐阜県海津市平田町仏師川字村中30-7
創業	1977年9月
設立	2014年8月
資本金	150百万円
連結売上高	175億円（2018年度）
市場	東証一部、名証一部
証券コード	3447

3



創業 42年

岐阜県羽島市に設立し、2004年に岐阜県海津市に移転しました。

従業員 155名 (2019年3月31日現在)

6名でスタートした会社でしたが、今では25倍に仲間が増えました！



拠点 (国内)

営業拠点・工場を国内に12拠点展開

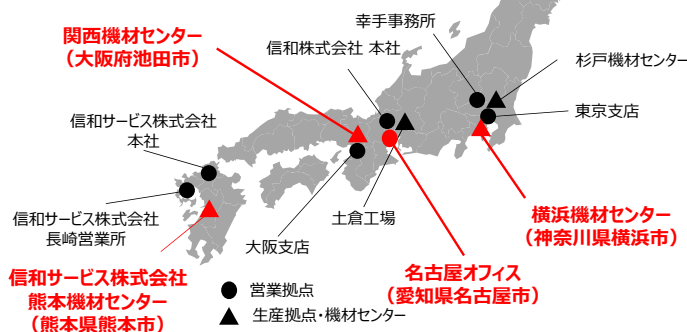
2018年 8月 熊本機材センター開設

2018年 11月 横浜、関西に機材センター開設

2019年 2月 名古屋オフィス開設



名古屋オフィス



横浜機材センター



関西機材センター

拠点（海外）

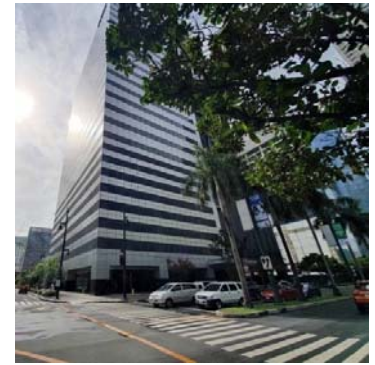
2017年に2拠点を展開

フィリピン駐在事務所（マニラ）

ベトナム協力工場（ホーチミン）



ベトナム協力工場



フィリピン駐在事務所

2019年

中国に合弁会社を設立予定

沿革

1977年

創業



2003年

特機物流部門に進出



1988年

「キャッチャー」の
製造・販売を開始



2016年

次世代足場「SPS」の
製造・販売を開始

2019年

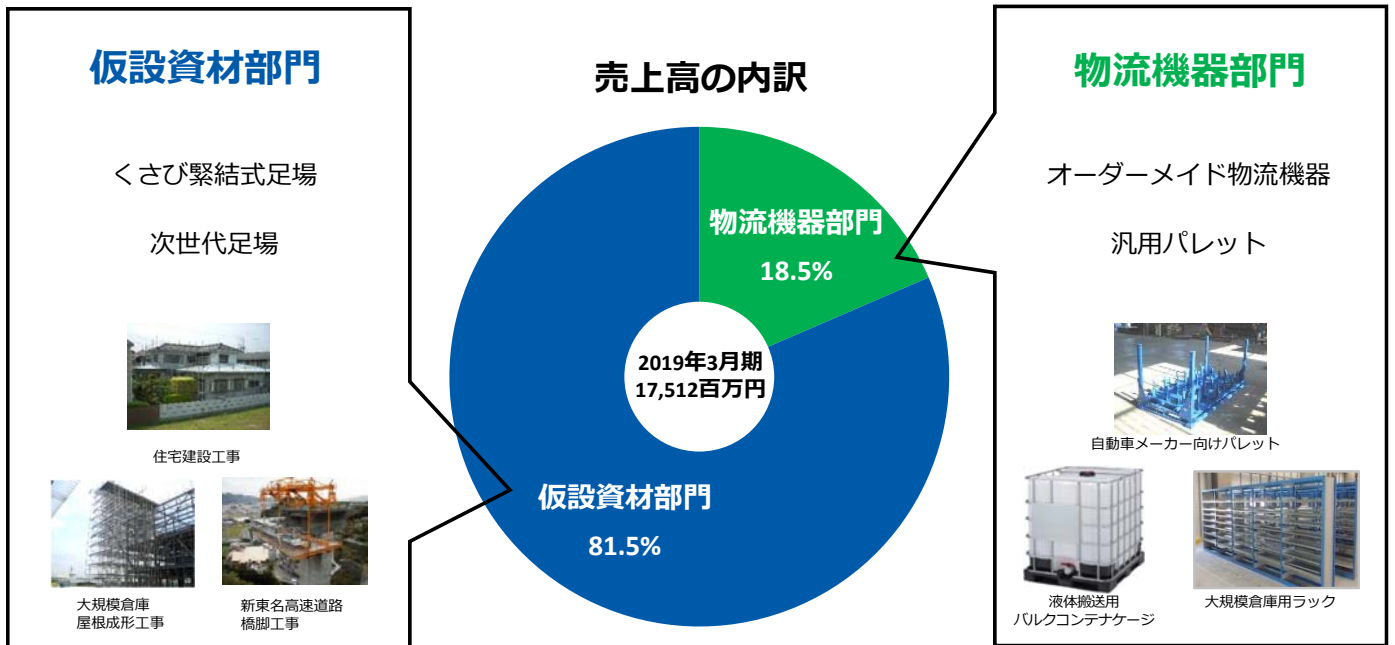
東証・名証一部に上場



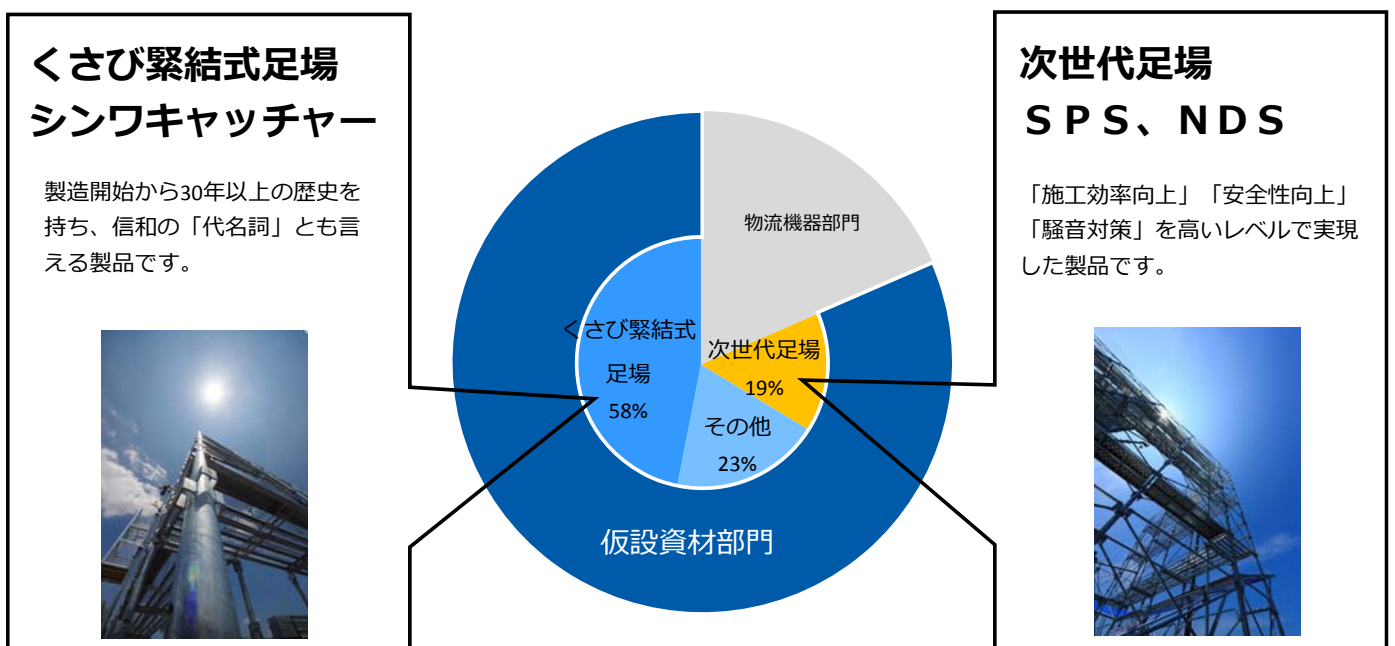
2019年3月末株主数 14,043名

約5割が個人の株主様となっております、多くの個人株主様にご支援いただいております。

2 事業について



仮設資材部門



当社の主力商品				枠組足場
システム足場			枠組足場	
当社製品	くさび緊結式足場 シンワキャッチャー	次世代足場 SPS NDS		高層・大型向け
用途	低層～中層向け (45mまで施工可能)	中層～高層向け		高層・大型向け
工期	短	短		長
騒音	有	少		少
保管・運搬効率	高	高		中
施工効率	高	高		低
当社製品	低層 (戸建住宅等)	中層 (マンション等)	高層 (大型マンション、ビル等)	大型施設、公共工事

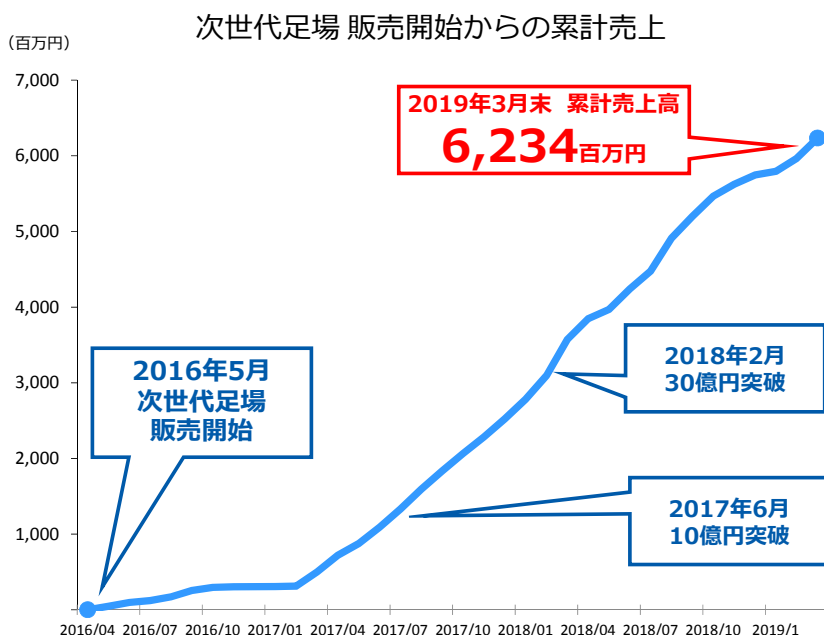
次世代足場

- シンワキャッチャー (くさび緊結式足場)
- SPS (サイレントパワーシステム)
- NDS (ダーウィン)
注) 大手リース会社向けに製造・販売

ユーザー：システム足場の施工業者、くさびレンタル企業

ユーザー：システム足場の施工業者、枠組み足場のとび職

ユーザー：枠組み足場のとび職、在庫を持たないとび職



累計売上高 60億円突破

建設現場における

- 施工効率向上
- 安全性向上
- 騒音対策 など

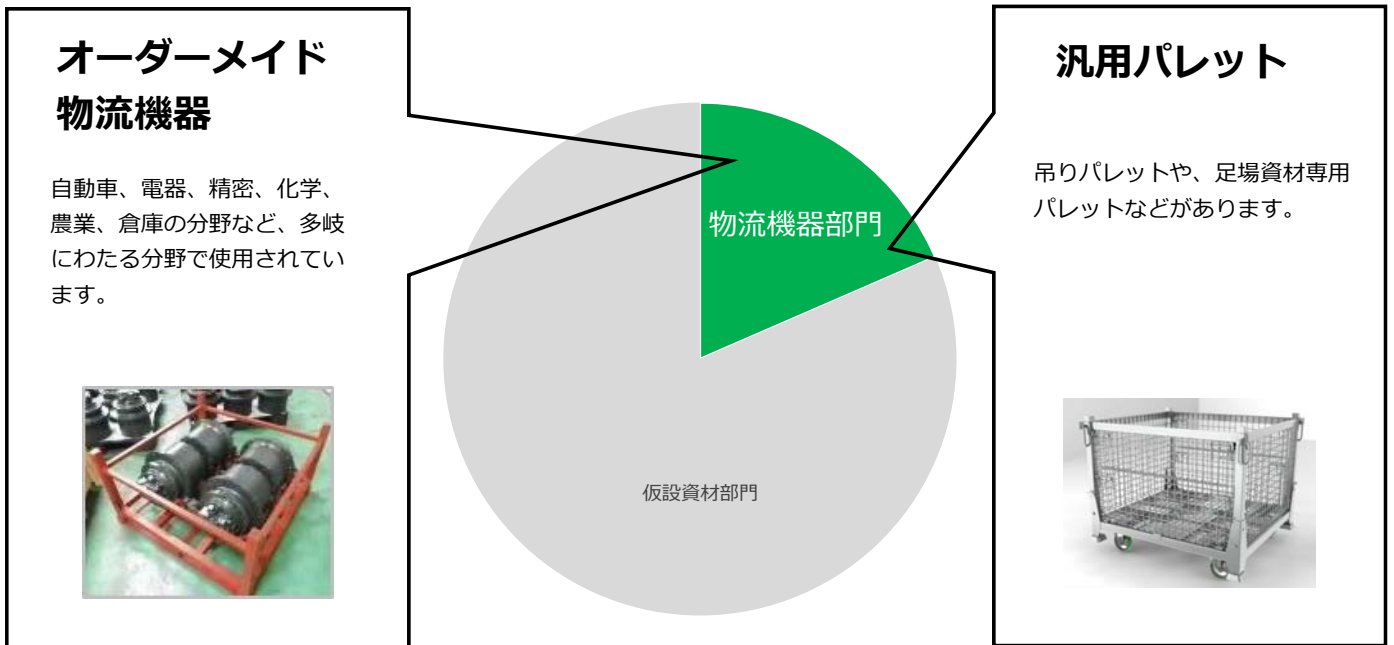
様々なニーズ拡大に応え、発売から約3年で累計売上高60億円を突破しました！

住宅や橋脚の建設はもちろんのこと...



大規模施設の建設にも使われています！





信和の第2の柱へ！

金属加工の技術を生かして様々な分野に展開しています。

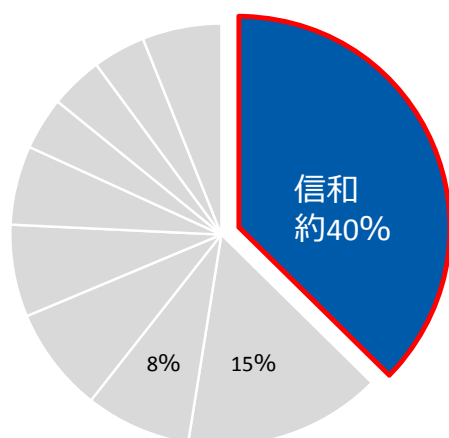
- 大型物流倉庫用ラック
 - 植物工場用多段棚
 - 液体搬送用バルクコンテナケージ
- など



3 信和の強み

18

市場シェアについて



(注) 2017年9月20日付の自社調査によるものです。

トップシェア！

出荷金額ベースで約40%を確立。
お客様からの確かな信頼の証です。

くさび緊結式足場
販売シェア
No.1

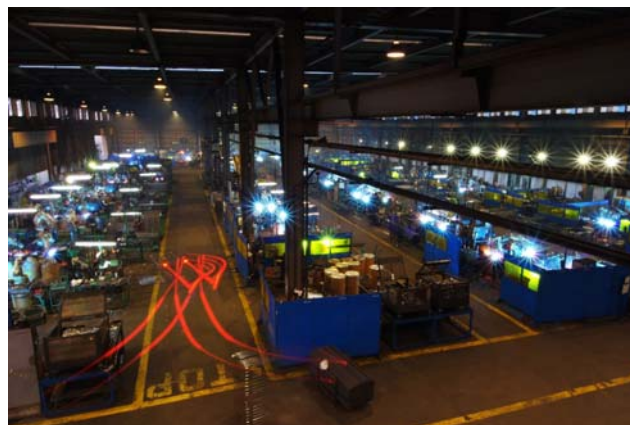
19

敷地面積 40,462平米

東京ドームとほぼ同じ広さ

年間製造量 約47,300トン

業界随一の生産力と多品種生産を両立



溶接ロボット 136台

スピーディーな納品と高い品質水準を保つため、最新の技術と設備で製造しています！

売上高
175億

営業利益率
11.2%

9期
連続増収

(2019年3月期)

ROE
10.7%

(2019年3月期)

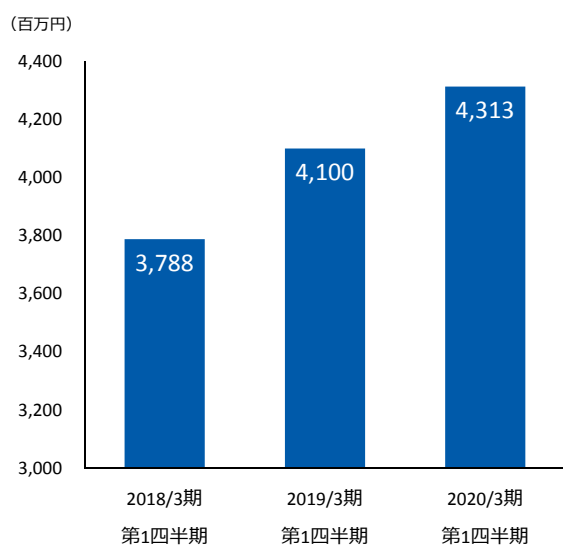
4

2020年3月期 第1四半期の状況

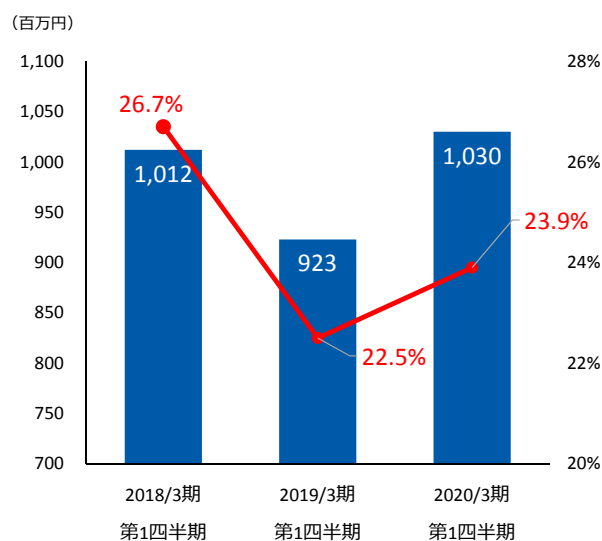
22

売上高・売上総利益の推移

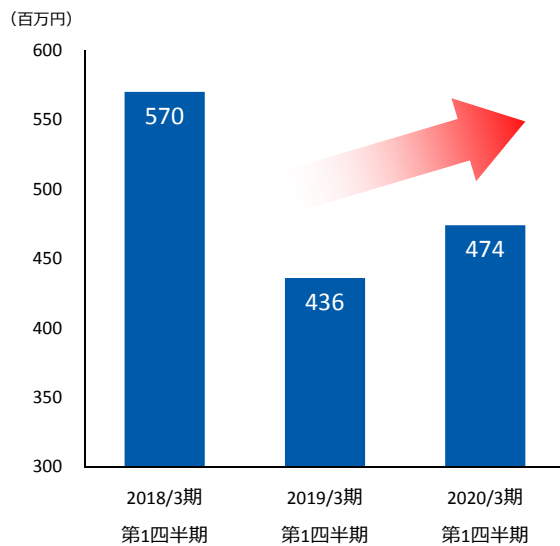
売上収益



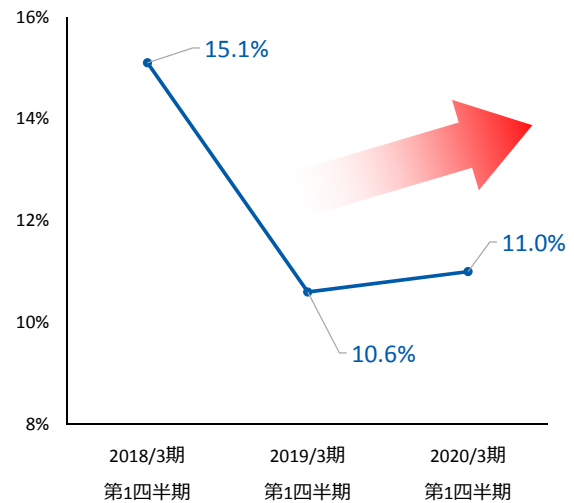
売上総利益・売上総利益率



営業利益



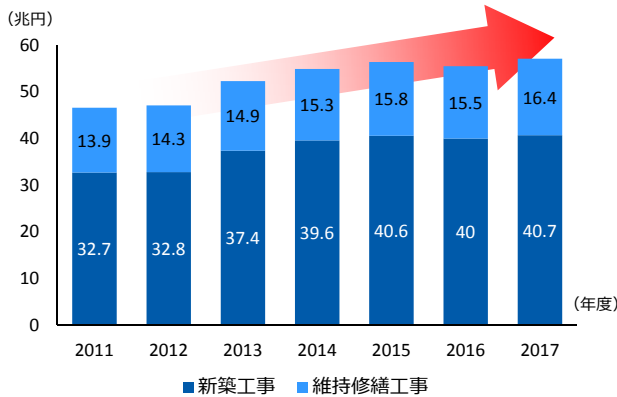
営業利益率



5 今後の見通し

建築投資の増加

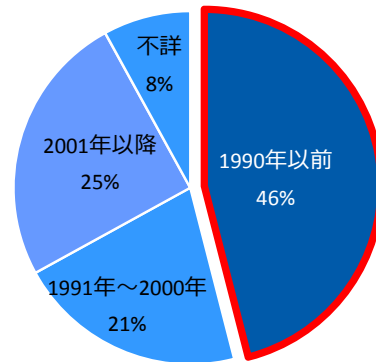
「インフラ長寿化計画」により、近年は、新設工事・維持修繕工事ともに増加傾向



出典：一般社団法人日本建築業連合会「建築業ハンドブック2018」、国土交通省「建設工事施工統計」

リフォーム需要が増加

築30年以上を迎える住宅が2,385万戸と、全体の半数に迫る。



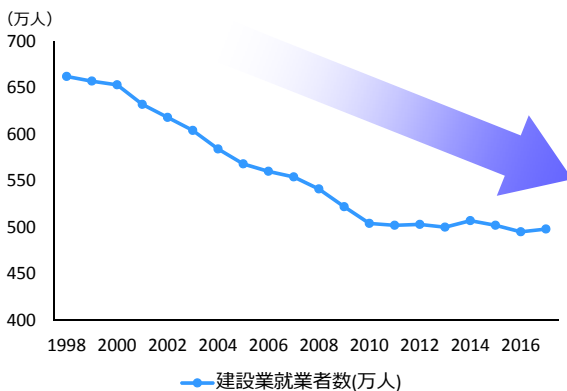
出典：総務省「平成25年住宅・土地統計調査」

インフラ整備やリフォーム・改修など建設需要は堅調！

建設業就業者の推移

就業者不足

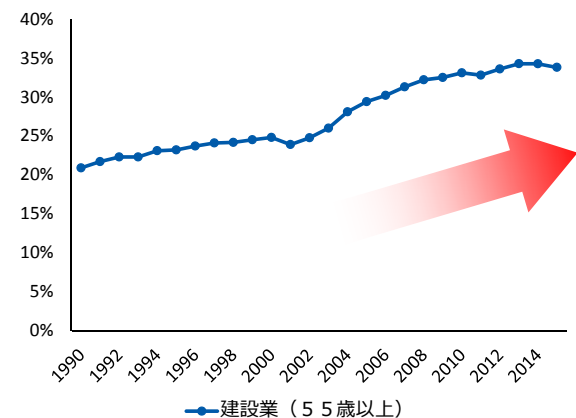
建設投資は増加傾向の一方、建設業就業者数は年々減少



出典：総務省「労働力調査」、厚生労働省「建設労働関係統計資料」

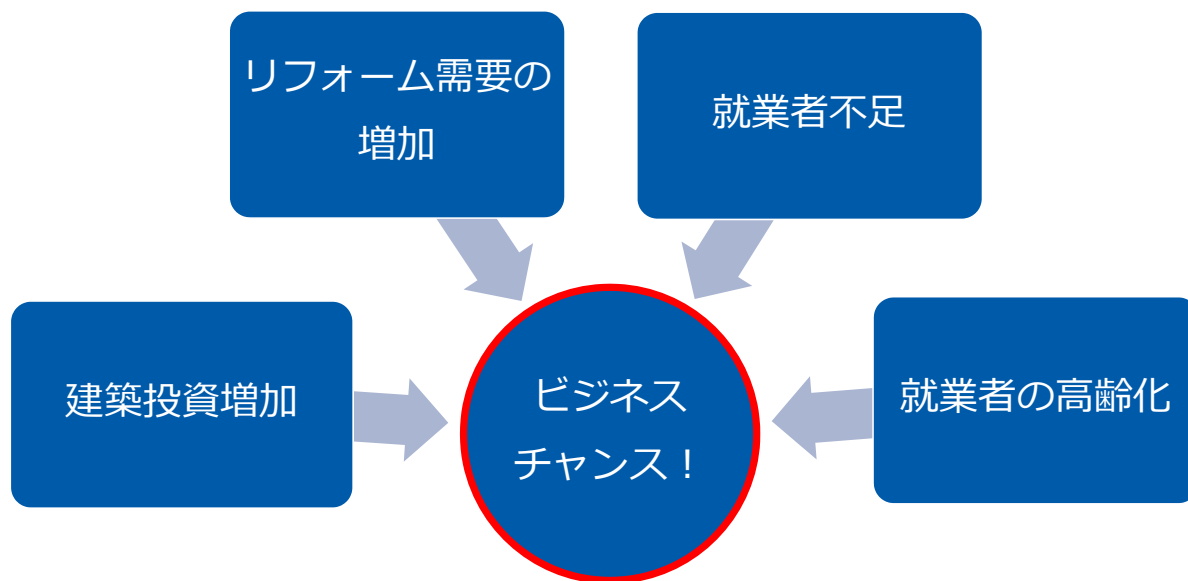
就業者の高齢化

55歳以上の就業者の割合が3分の1を占める



出典：「建設業ハンドブック 2018」

工事現場では一層の施工効率向上、省力化が求められる！



実績と見通し

(単位：百万円)	2019年 3月期	2020年 3月期予想	前期比 増減
売上収益	17,512	17,000	512百万円減
営業利益	1,963	2,060	97百万円増
営業利益率	11.2%	12.1%	0.9pt改善
当期利益	1,331	1,400	69百万円増

5 株主還元

30

配当方針

配当政策

当社グループでは、株主の皆様に対する利益還元を経営上重要な課題の1つとして位置付けております。

配当性向目標

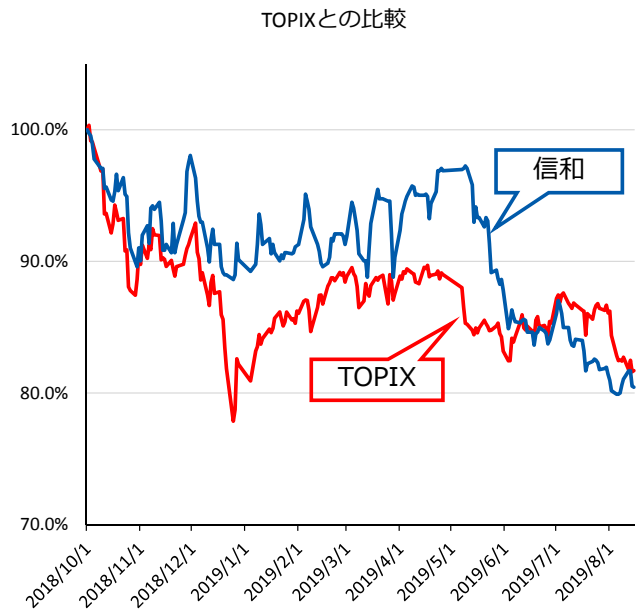
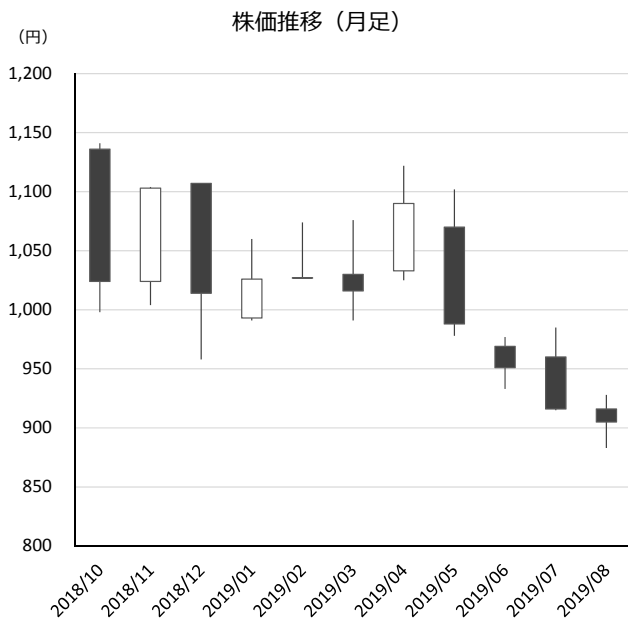
40%以上



配当金 2020年3月期

44円 (予定)

株価の推移



数字で見る信和

証券コード 3447	創業 42 年	2019 年 3 月 東証1部上場
売上構成 (2019/3期) 仮設 8 : 物流 2	溶接ロボット (2019/5現在) 136 台	年間製造量 (2018/3期) 47,300 トン
9 期連続増収 (2019/3期)	営業利益率 (2019/3期) 11.2%	ROE (2019/3期) 10.7%
くさび緊結式足場 シェア No.1	1株あたり配当 (2019/3期) 44 円	配当性向 40% 以上 目標